

令和6年3月吉日
駒の学び舎
世田谷区立駒沢中学校
校長 和田 直樹

令和6年度に向けた改善方策について

今年度の学校評価に係るアンケートの回収率は令和4年度実施に比べると、生徒で10.1ポイント減、保護者では21.8ポイント増、地域では10.4ポイント減でした。来年度は特に生徒の回収率を各学年ともに100%に近づけてまいります。

学校関係者評価委員会からの報告から、来年度に向けて以下の内容を重点にあげて改善してまいります。

1 宿題やe-ラーニングを活用した家庭学習の指導の充実

- (1) 塾に行っているから家庭学習はしなくてよいということではないことも含めて、各教科や学年からe-ラーニングを活用した学習内容や宿題に取り組むよう啓発を促す。

2 キャリア・パスポート等を活用した、早期からの（1年生への）指導の充実

- (1) 生徒が自分自身の学びの過程を振り返り、1年生から学びや生き方をデザインすることができるようなカリキュラム・デザインを推進していく。
- (2) キャリア・パスポートを活用することで、意図的・計画的に教育相談や三者面談において将来への展望をもたせるなど指導の充実を図る。

3 「学び舎」を活用した近隣小学校・幼稚園・保育園との連携の強化

- (1) 学習面では「ICTの活用」と「主体的・対話的で深い学び」の実践を通して、論理的な思考力、的確な判断力、豊かな表現力を育み、保幼小中の課程において自己の成長を確認できる確かな学力を身に付けさせる。
- (2) 「美しい日本語を世田谷の学校から」の取組を学び舎内で連携して計画的に推進し、保幼小中の課程を通して、深く考え、自分のことばで表現できるコミュニケーション能力の高い子供を育てる。
- (3) 安全教育や防災教育を通して、地域も含めた総合防災訓練の実施や災害時に保幼小中それぞれの発達段階における望ましい行動ができるよう実践していく。
- (4) 「学び舎」での連携を強化することで、地元の中学校の良さを地域や保育園や幼稚園、小学校に広げる。